

## 立教大学ナショナリズム(頻出単元・分野・テーマ)と近年の流行

### アジア史

#### ①中国各王朝の歴史

1年分で1つの王朝を大量に出題することは少ない。敢えて言うならば、唐・モンゴル・明・清というように対外との交流が中心の出題が多い。やはり、テーマとして、反乱の歴史や戦いの歴史などのタテの見方が大切。

#### ②周辺諸民族・周辺国家の歴史

北方民族・チベット・朝鮮半島に関する民族・王朝の変遷に注意！

#### ③中国制度関連史

貨幣制度・土地制度・税制・兵制がテーマになった歴史が頻出、小問でも超頻出！

#### ④西アジア～中国までの欧米による植民地化

オスマン帝国へのロシア南下、イギリスのインド植民地化、英仏蘭による東南アジア植民地化、アヘン戦争～義和団事件までの中国の歴史は頻出。

#### ⑤イスラーム王朝史と近代イスラーム帝国

ハイレベルのイスラーム王朝は出題されない。業績の多いイベリア半島・エジプトの王朝が内容まで問われる。近世以降の出題率はアジア史№1でティムール帝国・サファヴィー朝・オスマン帝国の盛衰・ムガル帝国の盛衰は絶対。イスラーム関連用語として、イクター制・デウシルメ制・マンサブダール制などは必修。

#### ⑥先史&古代史の全般

古代オリエント&古代インドの盛衰、中国古代文明など上位大学では珍しく古代のオンパレード。毎年1日程では1～2問だが、先史という盲点が出題される。

#### ⑦戦間期のアジア・アフリカ

中東～東アジアにおける民族運動の中心人物や事件が問われる。特にトルコ・イラン・インド・東南アジア・朝鮮には注目。

### 欧米史

#### ①ギリシア～ヘレニズム～ローマ時代

出題回数は多いがレベルは高くない。人物・戦争名・法律名や文化関連も多い。ローマ史も少々出るので、手を伸ばせれば伸ばしたい。一問一答でOK。

#### ②ローマ＝カトリックの盛衰

ハイレベル用語はないが、年代などは細かい。ローマ時代のキリスト教の成立・発展からローマ

教皇と公会議のそれぞれの業績や内容と十字軍は狙われる。宗教改革まで引っぱるので注意。

#### ③西欧中世国家の動向

英仏対立史と中世都市の出題に絞られる。英王と仏王の対立の動き、封建社会の崩壊とペストと百年戦争は頻出。

#### ④近世の幕開け

最大の頻出単元。大航海時代と西欧絶対王政は特に多い。大航海時代の貿易と古代アメリカ文明はやや難がある。スペイン・イギリス・フランスの絶対王政は、各王朝・各国王の業績を狙う。オランダ独立戦争とドイツ三十年戦争は多い。イギリス革命は少ない。

#### ⑤19世紀のヨーロッパ世界

特にウィーン体制の成立～崩壊が中心。アメリカ&中南米の動きも大航海時代以上に出題率が高い。しかも、テーマ史として先住民・黒人問題が狙い目で戦後史の公民権運動に繋げてくる。自由主義のイギリスとロシアの南下政策は要チェック。

#### ⑥帝国主義時代

英仏中心のアフリカ分割・インドや東南アジアや中国への進出(中国分割)に注目！地図も出題される可能性もあり！第1次世界大戦の流れまで出題される。

### 各国史・テーマ史

#### ①地域史に注目

島・半島・海などの名の付いた地域を「タテのテーマ」として出題してくる地図の出題もあるので、有名なモノは注意したい。

#### ②アメリカ史

アメリカ独立の流れ、カリブ海政策と反トラスト法、戦後のアメリカ大統領史に注目！

#### ③ロシア史(南下政策・ロシア革命・ソ連邦史)

ピョートル1世・エカチェリーナ2世～ニコライ2世までの業績、オスマン帝国への南下政策、1905～1922年の革命関連の歴史、戦後の社会主義陣営の成立と動揺と崩壊の流れに注目！

#### ④宗教関連史

各宗教の成立と発展の歴史、宗教改革と宗教戦争、各宗派の誕生の歴史など、キリスト教・イスラーム教・仏教・儒教・ラマ教・ヒンドゥー教・ユダヤ教・道教・シク教・ゾロアスター教・マニ教・ジャイナ教の順に勉強しておこう！

## 文化史・戦後史

### ①西洋文化史の狙い目

単元的にはギリシア・ローマ文化、19～20世紀の文化が多いが、ローマ・ルネサンス・17～18世紀の文化の出題回数も少なくはない。中国文化史は“宗教”，西洋文化史は“芸術”という構造だろうか。

### ②ヨーロッパ美術・建築史

とにかく、ヨーロッパの文化史は危ない！ 特に、中世ヨーロッパの建築・ルネサンス～19世紀までのヨーロッパ絵画は写真や地図と共に覚えておきたい。世界遺産関連の建造物も頻出！

### ③イスラーム文化

イスラーム王朝史とともに出題されるが、毎年新しいイスラーム文化用語（人物・学問・書物など）が出題されるので、文化史の問一答で全ての用語を潰してから行きたい！

### ④戦後史の取り扱い方

年度によっては小問で2割程度出題されたこともあるが、最近では稀な話なので、戦後史に命を懸けるような勉強は決してしないように！ テーマ史・各国史の一部としての出題がほとんどなので1割程度、年度・学部によっては出題されないことも少なくない。対策は戦後の有名出来事は確実に押さえておくこと。朝鮮戦争・ベトナム戦争・中東戦争・アフガニスタン侵攻・東南アジアの独立指導者・東欧諸国の動向などである。又、冷戦終結後の（超現代史）も出題されるようになった。テロや地域紛争、分離主義に注目したい。

### ⑤国際関係史

戦後の国際組織や国際同盟（冷戦関連・第3世界の結束）、反共組織、地域同盟（EU・AU・ASEAN）、経済協力組織（WTO・APEC・NAFTA）などが盲点となろう。近年は核軍縮に関連した出題も増えている。